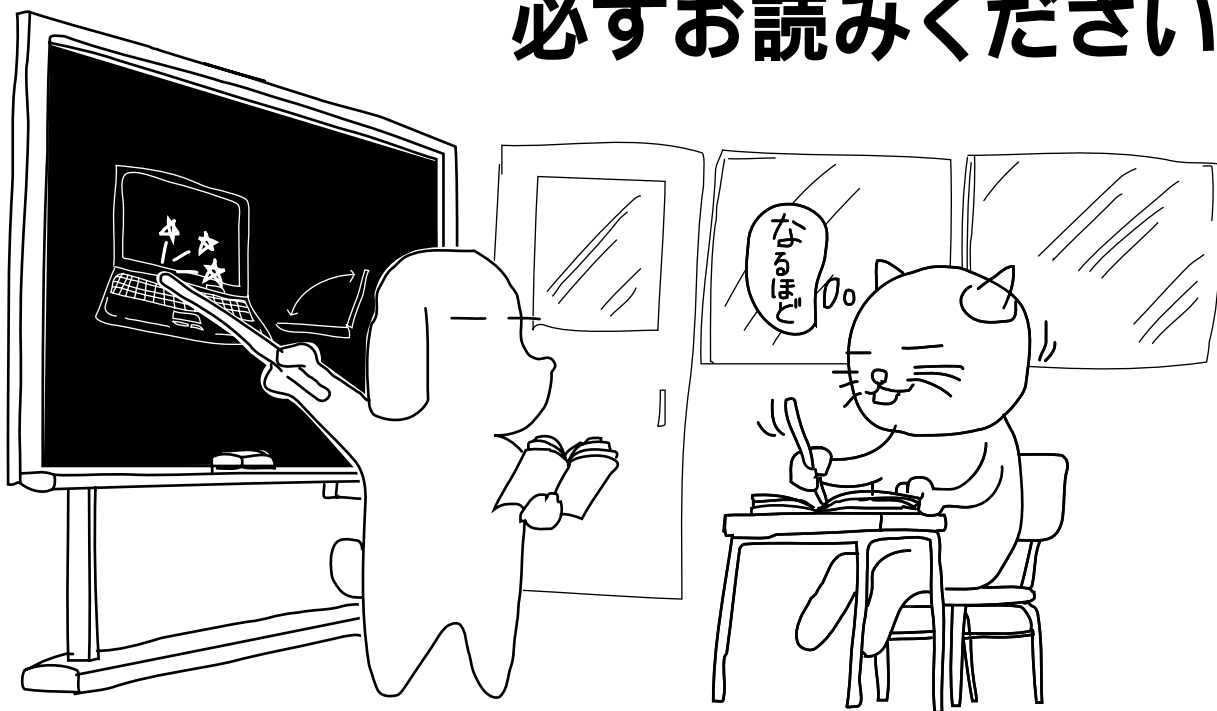


必ずお読みください



お使いになるうえでの**注意事項**

このたびは、弊社の製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
本書では、本製品をお使いになるうえで知っておいていただきたいこと、参考にしていただきたいことを記載しています。添付のマニュアルと共に大切に保管してください。
なお、本書では、本パソコンがご購入時の設定であることを前提に説明しています。

お使いになるうえでの注意事項

ここでは、本パソコンに添付されているアプリケーションをお使いの際に、知っておいていただきたい注意事項を説明しています。お使いの機種によっては、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』の「技術情報」にも注意事項が記載されていることがありますので、合わせてご覧ください。

また、各アプリケーションのマニュアルやヘルプも合わせてご覧ください。

本書の表記について

● 機種名について

機種名を次のように表記しています。

機種名	本書での表記
FMV-BIBLO NE2/450LR, NE2/450L, NE2/43LR, NE2/43L, NE2/45, NE2/40E	NEシリーズ、または NE2/450LR, NE2/450L, NE2/43LR, NE2/43L, NE2/45, NE2/40E
FMV-BIBLO MF2/400X, MF2/40	MF2/400X, MF2/40

● 製品の呼びかたについて

製品名称を次のように略して表記しています。

製品名称	本書での表記
FMV-BIBLO	BIBLO
Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION	Windows98
Microsoft® Windows® 95 operating system	Windows95
Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0	Windows NT 4.0
Microsoft® Word 2000 for Windows®	Word 2000
Microsoft® Excel 2000 for Windows®	Excel 2000
Microsoft® Outlook® 2000 for Windows®	Outlook 2000
Microsoft® NetMeeting™ Version 2.1	Microsoft NetMeeting
Microsoft® IME 2000	MS-IME 2000
Microsoft® Internet Explorer 5.00.2614.3500	Internet Explorer
Microsoft® Outlook™ Express	Outlook Express
Microsoft® FrontPage Express™	FrontPage Express
はじめよう！インターネット(@nifty) (無料体験付)	はじめよう！インターネット(@nifty)
ゼンリン電子地図帳[Zi:] II for FUJITSU	ゼンリン電子地図帳Z II
VirusScan for Windows 95/98	VirusScan
10円メールマスター Ver.2	10円メールマスター
SANRIO TINY PARK VOL.4	SANRIO TINY PARK 4
筆ぐるめ Version 7.0	筆ぐるめ
FM手帳	FM手帳
AOL 4.0 for Windows 95/98	AOL

目次

第1章 必ずお読みください

● 全機種情報

A1. マニュアルの読み替えについて	1
A2. CD-ROM の取り扱いについて	1
A3. CD-ROM「かるがるパソコン入門」をお使いの方へ	1
A4. セットすると自動ではじまる CD-ROM を使用する場合	1
A5. アプリケーション起動時のエラーについて	1
A6. Windows98 起動時の注意	1
A7. Windows98 を終了するときの注意	2
A8. Windows98 の強制終了について	2
A9. Windows98 の CD-ROM について	2
A10. 「Windows」キーを押したときの動作について	2
A11. 省電力機能について	3
A12. 画面の解像度や色数の変更について	3
A13. 画面の乱れについて	3
A14. スクリーンセーバーについて	4
A15. 「アクセサリ」のペイントについて	4
A16. オブジェクトの挿入について	4
A17. オブジェクトの貼り付けについて	4
A18. ダイヤラをお使いの場合	5
A19. Direct 3D または Direct Draw 対応のゲームなどについて	5
A20. Microsoft Backup でテープデバイスをお使いになる場合	5
A21. Office 2000 Personal について (Office 2000 Personal モデルのみ)	6
A22. Microsoft® Photo Editor について (Office 2000 Personal モデルのみ)	7
A23. OASYS について (OASYS モデルのみ)	7
A24. VirusScan について	7
A25. アプリケーション「FAX 留守番電話」について	8
A26. 「FM かんたんバックアップ/データ」について	8
A27. FrontPageExpress をお使いになりたい場合	8
A28. Direct X 対応のソフトをお使いになる場合	8
A29. Windows98 の 2000 年対応について	8
A30. ホームページが文字化けする場合	8
A31. ボリュームについて	8
A32. モデムの通信中もしくは着信時の注意事項	8

● 機種別情報

a1. CPU名の表示について	
NE2/450LR, NE2/450L, MF2/400X のみ	9

第2章 必要に応じてお読みください

● 全機種情報

B1. キーボードの種類について.....	10
B2. 画面の表示色について.....	10
B3. 画面の解像度や色数の変更について.....	10
B4. 画面にアイコン表示やウィンドウの一部などが残ってしまった場合.....	10
B5. デスクトップの壁紙について.....	10
B6. タイトルバーのグラデーションについて.....	11
B7. タスクバーに起動していないアプリケーションのボタンが表示される場合.....	11
B8. 日本語入力システムについて.....	11
B9. 省電力機能について.....	11
B10. CD-ROM 読み込み中の省電力機能について.....	12
B11. LAN カード接続時の省電力機能について.....	12
B12. コントロールパネルについて.....	12
B13. 「コントロールパネル」の「マルチメディア」について.....	12
B14. 「コントロールパネル」の「日付と時刻」について.....	12
B15. 「コントロールパネル」の「システムのプロパティ」について.....	12
B16. 「コントロールパネル」の「赤外線モニタ」について.....	13
B17. デフラグやスキャンディスクの実行について.....	13
B18. 「アクセサリ」の「Windows Media Player」について.....	13
B19. 「アクセサリ」の「ペイント」について.....	13
B20. 「アクセサリ」の「拡大鏡」について.....	13
B21. 「アクセサリ」の「システム情報」の「システムファイルチェッカー」について.....	13
B22. 「アクセサリ」の「ハイパーターミナル」について.....	14
B23. アプリケーションのヘルプについて.....	14
B24. アプリケーションのインストールおよびアンインストールについて.....	14
B25. アプリケーションの「送信」機能をお使いになる場合.....	14
B26. 音の出るアプリケーションをお使いになる場合.....	15
B27. 印刷プレビューについて.....	15
B28. WAKE UP 機能について.....	15
B29. MPEG ファイルの再生について.....	15
B30. 録音について.....	15
B31. 録音する場合のオーディオ形式の属性について.....	15
B32. 音楽をより良い音質でお聴きになりたい方へ.....	15
B33. RealPlayer について.....	15
B34. インターネット上での RealAudio ファイル/ ShockWave ファイルの再生について.....	16
B35. USB 機器の増設について.....	16
B36. 赤外線通信について.....	16
B37. 通信などでパソコンから電話をかける場合.....	16
B38. Microsoft Exchange および Microsoft Fax について.....	16
B39. Microsoft NetMeeting について.....	17
B40. Outlook Express について.....	17
B41. Outlook2000 について (Office 2000 Personal モデルのみ).....	17
B42. Lotus 1-2-3 2000 について (一太郎, OASYS モデルのみ).....	17
B43. Net-It Now! について (一太郎, OASYS モデルのみ).....	17
B44. 「Word2000&Excel2000 の虎の巻」、 「一太郎 10&Lotus1-2-3 2000 の虎の巻」について.....	18
B45. OASYS について (OASYS モデルのみ).....	18
B46. OASYS (V7.0) の「ユーザ定義文字の変換」について (OASYS モデルのみ).....	18
B47. FM 手帳について.....	18
B48. FM 便利ツールについて.....	18
B49. FM キャプチャについて.....	19
B50. FM Advisor について.....	19

B51.らくらく写真館について	19
B52.らくらく写真館の Photoware/FDi 注文ソフトについて	19
B53.らくらくメール BOX について	19
B54.PMSet98 について	19
B55.ゲームをお使いになる場合	19
B56.文字が正しく表示されない場合	20
B57.ウィンドウの「最小化」「最大化」「閉じる」ボタンが正しく表示されない場合	20
B58.フォントがインストールできない場合	20
B59.ネットワークプロトコルが追加できない場合	20
B60.「FM 一発修正」について.....	20
B61.筆ぐるめについて.....	20
B62.筆ぐるめの住所録データを FM 手帳に読み込むときの注意	21
B63.タッチおじさんメールについて	21
B64.サンリオアクセサリーについて.....	21
B65.VirusScan について	22
B66.Jet-Audio Player について.....	22
B67.ポケベルコール機能について	22
B68.携帯電話を使って通信する場合	22
B69.マイクとスピーカーを使った通話機能について	22
B70.ナンバーディスプレイを契約されている電話回線をお使いの方へ	22
B71.FAX 留守番電話について.....	23
B72.FAX 留守番電話や FAX を使って自動受信を行う場合	23
B73.メモリアイタルリンクについて	23
B74.メモリアイタルリンクに携帯電話のデータをダウンロードした場合	24
B75.FAX 留守番電話とメモリアイタルリンクを同時にお使いになる場合	24
B76.インターネット(@nifty)無料体験について	24
B77.AOL について	24
B78.ユーザ登録や加入手続きをオンラインで行うときの注意	24
B79.複数のユーザが使用する設定で本パソコンをお使いの場合	24
B80.デバイスの削除/ドライバの更新について.....	25
B81.USB キーボードをお使いの方へ	25
B82.ACPI の設定でネットワーク上のファイルを利用する場合の注意	25
B83.MS-DOS モードで CD-ROM をお使いになる場合	25
B84.ご購入時に内蔵されている CD ドライブの専用ドライバをお使いになる場合	26
B85.ノイズについて.....	27

● 機種別情報

b1.画面の解像度や色数の変更について NE2/45,MF シリーズのみ	28
b2.マウスポインタの表示について NE シリーズのみ	28
b3.電子地図手帳 Z II をインストールする場合 NE2/450LR,NE2/450L,NE2/43LR,NE2/43L,NE2/40E のみ	28
b4.ゼンリン電子地図帳 Z II について NE2/450LR,NE2/450L,NE2/43LR,NE2/43L,NE2/40E のみ	28
b5. DragonSpeech について NE2/450LR,NE2/450L,NE2/43LR,NE2/43L のみ.....	28
b6.画面の色数を 32bit にした場合の注意 NE2/45,MF2/400X,MF2/40 のみ	28
b7. ACPI モードでマウスドライバの更新、削除を行った場合 NE シリーズ,MF2/400X,MF2/40 のみ	28
b8. ACPI モードでマウスドライバとして ALPS GlidePoint をインストールした場合 NE シリーズ,MF2/400X,MF2/40 のみ	29
b9.ディスプレイについて NE2/450LR,NE2/450L,NE2/43LR,NE2/43L,NE2/40E のみ	29
b10.NE2/45 のモデムの使用について	29

b11.NE2/45におけるマイクからの録音について	29
b12.NE2/45のボリュームについて	29
b13.デバイスの使用について	
NE2/45のみ	30
b14.MF2/400X,MF2/40のサウンド機能について	30
b15.ドライバの再インストールについて	
NE2/45,MF2/400X,MF2/40のみ	30
b16.マルチモニタについて	
NE2/450LR,NE2/450L,NE2/43LR,NE2/43L,NE2/40Eのみ	30
b17.FDDユニットの着脱について	
MF2/400X,MF2/40のみ	30
b18.Easy CD Creator / DirectCDについて	
NE2/450LR,NE2/43LRのみ	30
b19.パーティーグッズ:Facematchについて	
NE2/450LR,NE2/450L,NE2/43LR,NE2/43L,NE2/40Eのみ	31
b20.PCカードをお使いの方へ	
NE2/45除く	31
b21.ドライバのアップデートについて	
NE2/450LR,NE2/450L,NE2/43LR,NE2/43L,NE2/40Eのみ	32
NE2/45のみ	32
NEシリーズ,MF2/400X,MF2/40のみ	32

第1章 必ずお読みください

●全機種情報

A1.マニュアルの読み替えについて

- 添付の各アプリケーションのマニュアルやヘルプ、補足説明などが記載されたファイル(README など)、画面に表示されるメッセージなどで、「Windows95」の記述があった場合は、「Windows98」と読み替えてください。
- 本パソコンでは、クリック操作を「シングルクリック」に設定しています。添付のマニュアル・README ファイル・ヘルプなどで「ダブルクリック」と記載されているものは、「クリック」に読み替えてください。ただし、一部の操作では「クリック」ではなく、「ダブルクリック」で操作する必要があります。

A2.CD-ROM の取り扱いについて

読み込み中は、CD-ROM を取り出さないでください。アプリケーションが誤動作したり、システムが停止する場合があります。合わせて添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』の「Q CD-ROM を取り出したら青い画面になった」もご覧ください。

A3.CD-ROM「かるがるパソコン入門」をお使いの方へ

操作中まれに、「不正な処理」などのメッセージが表示される場合があります。この場合は、メッセージを閉じ、Windows98 を再起動してから、CD-ROM をセットし直してお使いください。

A4.セットすると自動ではじまる CD-ROM を使用する場合

セットすると自動ではじまる CD-ROM を使用しているときに省電力機能が働くと、省電力機能から復帰したときに CD-ROM が二重に起動してしまい、誤動作の原因となります。二重に起動してしまった場合は、CD-ROM のアプリケーションを一度すべて終了し、CD-ROM をセットし直してください。

A5.アプリケーション起動時のエラーについて

次のようなエラーが発生した場合は、そのまま使用せず Windows98 を再起動させてください。

- 多くのアプリケーションを同時に起動したとき、システムのメモリが不足して、「例外エラー」や「ページ違反」が発生する場合があります。
- アプリケーションを終了したあと、「スタート」ボタンをクリックし、スタートメニューからメニュー項目を選択しようとする、ごくまれにエラーメッセージが表示される場合があります。

A6.Windows98 起動時の注意

はじめよう！ インターネット(@nifty)でサインアップした後や、FM モバイルチェンジャーで設定を保存した後に、Windows98 を起動すると、FM モバイルチェンジャーの環境の選択画面(黒い画面)が表示される場合があります。この画面の表示をやめたい場合は、FM モバイルチェンジャーを起動し、「ツール」メニューから「オプション」を選択し、表示された「オプション」ダイアログで、そのまま「OK」をクリックしてください。なお、もう一度表示させたい場合は、「オプション」ダイアログで「スタートアップメニューを使用する」にチェックマークをつけ、「OK」をクリックしてください。

A7.Windows98を終了するときの注意

- アプリケーションのウィンドウを表示したまま Windows98 を終了または再起動すると、エラーメッセージが表示されるなど、Windows98 を正しく終了できない場合があります。また、Windows98 の終了または再起動中に、編集中のデータを保存するかどうかの確認メッセージが表示された場合、そこで保存するように指定しても正しく保存されない場合があります。
Windows98 を終了または再起動する前に、必要なデータはすべて保存し、起動しているアプリケーションはすべて終了してください。
- アプリケーション(メモ帳やペイントなど)でファイルを新規に作成したあと Windows98 を終了するときに、作成したファイルが必要な場合は、必ずそのファイルを保存してから Windows98 を終了してください。
ファイルを保存せずに Windows98 を終了しようとしたときにも、保存先やファイル名を指定するウィンドウが表示されますが、このとき日本語入力システムは使用できません。
- Windows98 を正常に再起動または終了できなくなった場合は、添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』の「Q 操作中に動かなくなった」をご覧ください。
- Windows98 を終了するときに、「このプログラムからの応答がありません。」というエラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、表示されたエラーメッセージの「終了」をクリックすると、Windows98 は終了します。このあと、そのまま本パソコンをお使いいただいても問題はありません。
- 「ネットワークドライブの割り当て」機能を使って、ネットワーク上の共有フォルダにドライブ名を割り当てていると、Windows 98 を正常に終了または再起動できなくなる場合があります。その場合は Windows 98 を終了または再起動する前に、「ネットワークドライブの割り当て」を解除してください。詳細につきましては、インターネットにあるホームページ(FM-WORLD)をご覧ください。アドレス(URL)は次のとおりです。

<http://www.fmworld.ne.jp/support/qa/w98/w98onoff.html#win98off>

(FM-WORLD の Q&A 事例「Windows 98」の「Windows 98 終了」)

A8.Windows98の強制終了について

Windows98 やアプリケーションの動作中に、「Ctrl」キーと「Alt」キーを押しながら「Delete」キーを押すと、アプリケーションなどが強制終了されます。このとき、作成中のデータが保存できなかったり、使用中のデータが壊れてしまったりする可能性があります。不必要に強制終了はしないでください。

A9.Windows98のCD-ROMについて

本製品には、Windows98 の CD-ROM は添付されていません。ドライバのインストール時などに、Windows98 の CD-ROM をセットする旨のメッセージが表示された場合は、次のフォルダを参照させてください。

C:\¥Windows¥Options¥Cabs

A10.「Windows」キーを押したときの動作について

- アプリケーションが起動しているときなどに、「Windows」キーを押してもスタートメニューが表示されない場合があります。この場合は、マウスやフラットポイントを使って「スタート」ボタンをクリックしてください。
- アプリケーションを終了した直後や、メッセージなどが表示されたウィンドウを閉じた直後に「Windows」キーを押すと、エラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、「閉じる」をクリックしてエラーメッセージを閉じ、Windows98 を再起動してください。

A11.省電力機能について

● マルチメディア関連ファイル(MPEG,AVI ファイルなど)の再生について

アプリケーションの動作が不安定になるため、次のようなときは省電力機能を働かせないでください。

- Wave,MIDI などの音声,音楽関連ファイルを再生しているとき
- AVI,MPEG,DATなどの動画ファイルを再生しているとき
- 音楽 CD を再生しているとき
- 音の出るアプリケーションをお使いのとき
- 音声認識ソフトをお使いのとき

● 通信をする場合

スピーカーフォンや FAX 留守番電話などの通信ソフトで通信中に、電源スイッチを押したりタイマー機能を使用するなどして、省電力機能を働かせないでください。通信が切断されたり、キーボードやマウスが使えなくなることがあります。ご購入時は、タイマーによる省電力機能が働いている設定になっています。設定を変更してお使いください。

● フロッピーディスクアクセス中の省電力機能について

フロッピーディスクアクセス中に省電力機能が働かないようにしてください。正常に動作が完了しない場合があります。

● MS-DOS プロンプトについて

MS-DOS プロンプトを起動したまま省電力機能を働かせた場合、キーボードやスイッチでは正常に復帰しないことがあります。この場合はマウスを動かすと正常に復帰します。

A12.画面の解像度や色数の変更について

画面の解像度や色数を変更する場合は、必ず起動中のアプリケーションや常駐しているプログラムを終了してから行ってください。また、変更後は必ず Windows98 を再起動してください。再起動せずにお使いになると、パソコンの動作が不安定になる場合があります。なお、解像度や色数の変更時の再起動については、「B3.画面の解像度や色数の変更について」にも注意して頂きたいことが記載されています。合わせてご覧ください。

A13.画面の乱れについて

省電力機能から復帰するときなど、画面表示の開始時や表示モードが切り替わる時、一時的に画面が乱れる場合がありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

A14.スクリーンセーバーについて

- スクリーンセーバーを表示しているときに、画面にカーソル表示が残る場合があります。
- 「OpenGL スクリーンセーバー」について
「OpenGL スクリーンセーバー」は、ご購入時はインストールされていません。このスクリーンセーバーをお使いになる場合は、「画面のプロパティ」で設定する前に、次の手順に従ってインストールしてください。
なお、OpenGL スクリーンセーバーに設定した場合に、いくつかの問題が発生する場合があります。あらかじめご了承ください。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
 2. 「アプリケーションの追加と削除」をクリックし、「Windows ファイル」タブをクリックします。
 3. 「ファイルの種類」の一覧から「アクセサリ」を選択し、「詳細」をクリックします。
「アクセサリ」ウィンドウが表示されます。
 4. 「ファイルの種類」の一覧から「スクリーンセーバー」を選択し、「詳細」をクリックします。
「スクリーンセーバー」ウィンドウが表示されます。
 5. 「ファイルの種類」の一覧の「OpenGL スクリーンセーバー」をクリックしてチェックマークをつけ、「OK」をクリックします。
「アクセサリ」ウィンドウに戻ります。
 6. 「OK」をクリックします。
「アプリケーションの追加と削除」ウィンドウに戻ります。
 7. 「OK」をクリックします。
ファイルがコピーされます。これでインストールは終了です。このあと、「画面のプロパティ」から「OpenGL スクリーンセーバー」を設定します。スクリーンセーバーの設定方法については、画面マニュアル『パソコン情報ランド』の「解決！Q&A」をご覧ください。
- 省電力機能を設定しているときに、スクリーンセーバーが起動したあと、まれに省電力機能が働かない場合があります。この場合は、どちらかの設定を解除してください。
- 「3D 迷路」をお使いの方へ
「3D 迷路」を使用中に省電力機能から復帰しないことがあります。スクリーンセーバーに「3D 迷路」を選択した場合、「設定」で「全画面表示にする」のチェックマークを外してお使いください。

A15.「アクセサリ」のペイントについて

Word2000、一太郎 10 などで作成した文書に貼り付けられたオブジェクトを編集する場合には、呼び出されたペイントのパレットの色が正しく表示されません。オブジェクトの編集は、貼り付ける前に行ってください。

A16.オブジェクトの挿入について

ワープロソフトや表計算ソフトで、拡張子が「dat」の動画ファイルをオブジェクトとして挿入すると、エラーメッセージが表示され、ワープロソフトなどが終了する場合があります。この場合は、作成中のデータは保存されません。拡張子が「dat」の動画ファイルをオブジェクトとして挿入するときは、あらかじめ作成中のデータを保存しておくことをお勧めします。

A17.オブジェクトの貼り付けについて

ワープロや表計算ソフトに動画などのオブジェクトを貼り付けて再生させると、次のメッセージが表示される場合があります。

「メディアプレーヤーの設定は、ほかのアプリケーションで変更されています。そのため、正常に動作しないことがあります。[はい]をクリックすると、この問題をここで修正します。[いいえ]をクリックすると問題を修復しないで終了します。」

このメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。以後、このメッセージは表示されなくなります。

A18.ダイヤラをお使いの場合

Windows98 の「アクセサリ」の「通信」の「ダイヤラ」では、スピーカーフォンはお使いになれません。電話機をお使いください。

A19.Direct 3D または Direct Draw 対応のゲームなどについて

Direct 3D または Direct Draw に対応したゲームなどをインストールするとき、ゲームソフトなどに添付されている Direct 3D または Direct Draw (以降 Direct X と略記します)ドライバをインストールすると、Windows98 を正常に起動できない場合があります。

● インストール時の注意事項

Direct X に対応したゲームなどをインストールするとき、①「現在のディスプレイドライバを Direct X ドライバに置き換えますか？」のメッセージが表示される場合と、②メッセージは表示されずに無条件に Direct X ドライバがインストールされる場合があります。①の場合は、メッセージに対して「置き換えない」を選択してください。②の場合は、本パソコンにすでにインストールされている Direct X ドライバと、ゲームソフトなどに添付されている Direct X ドライバのバージョンが異なると、画面が真っ暗になります。その場合は、ディスプレイドライバをインストールし直してください。インストール方法については、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』の「ディスプレイドライバをインストールする」をご覧ください。

A20.Microsoft Backup でテープデバイスをお使いになる場合

ご購入時、およびパソコンをふりだしに戻したときは、Microsoft Backup (「アクセサリ」の「バックアップ」)を使用してテープデバイスへはバックアップできません。Microsoft Backup でテープデバイスをお使いになる場合は、次の手順で Microsoft Backup を再インストールしてください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「アプリケーションの追加と削除」をクリックし、「Windows ファイル」タブをクリックします。
3. 「ファイルの種類」の一覧から「システムツール」を選択し、「詳細」をクリックします。
「システムツール」ウィンドウが表示されます。
4. 「ファイルの種類」の一覧から「Microsoft バックアップ」をクリックしてチェックマークを外し、「OK」をクリックします。
5. 「アプリケーションの追加と削除」ウィンドウの「OK」をクリックします。
6. 画面に表示されるメッセージに従って、操作を進めます。
7. Microsoft Backup の削除が完了したら、手順 1.～手順 3.と同じように操作をします。
8. 「ファイルの種類」の一覧から「Microsoft バックアップ」をクリックしてチェックマークをつけ、「OK」をクリックします。
9. 「アプリケーションの追加と削除」ウィンドウの「OK」をクリックします。
ファイルがコピーされます。これで操作は終了です。

ただし、Microsoft Backup を再インストールすると、本体背面の平行コネクタにプラグアンドプレイ対応の機器(プリンタなど)を接続した場合に、次のような問題が発生する場合があります。

- 接続した機器がまったく認識されない
- 本パソコンを起動するたびに、接続した機器が検出される
- 同じ機器を接続しても、検出されたり、検出されなかったりする
- 接続した機器の動作が不安定になる

上記のような問題が発生する場合、次の方法で回避できる場合があります。

- Windows98 を起動したあとに、平行コネクタに接続した機器の電源を入れる
- ドライバのインストールがうまくいかない場合は、「スタート」→「設定」→「プリンタ」をクリックし、「プリンタの追加」からインストールする

上記の手段は一例です。詳しくは、ご購入になった機器のメーカーに問い合わせるか、機器に添付のマニュアルをご覧ください。

A21.Office 2000 Personal について

(Office 2000 Personal モデルのみ)

- Office アシスタント(ご購入時はイルカに設定されています)を表示して操作をしているときに、Office アシスタントの一部などの残像が残る場合があります。この場合は、残像が残ったウィンドウを次の手順で再表示すると、残像は消えます。

1. ウィンドウの右上にある最小化ボタンをクリックし、アプリケーションを最小化します。
2. タスクバーに最小化されたアプリケーションのボタンをクリックすると、元の大きさに戻り、再表示されます。

なお、ご購入時の状態では、次の操作をしたときに、残像が残る場合があることが確認されています。

- Excel2000 などの「印刷プレビュー」のウィンドウをスクロールしたとき
 - Excel2000 などで、描画した図形を移動したとき
 - Office アシスタントをドラッグして移動したとき
- なお、この場合は、FM 便利ツールのマスコットや、サンリオアクセサリーの「アナログ時計」など、四角ではないウィンドウをドラッグして移動したときにも、残像が残る場合があります。
- Excel2000 をお使いの場合、次の状態のときはシート名を変更しないでください。
描画した図形や、貼り付けたオブジェクトなどを選択した状態(図形などの回りに□が表示されている状態)。
この状態でシート名を変更すると、エラーメッセージが表示され、Excel2000 が終了してしまう場合があります。
この場合は、作成中のデータは保存されません。ご注意ください。
なお、このあと引き続き本パソコンをお使いになる場合は、Windows98 を再起動してからお使いください。
 - Excel2000 または Word2000 をお使いのときに、「挿入」メニューの「図」から「クリップアート」を選択し、「クリップアートの挿入」ウィンドウを表示している場合は、省電力機能を働かせないでください。「クリップアートの挿入」ウィンドウを表示したまま省電力機能を働かせると、エラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、エラーメッセージのウィンドウで「閉じる」をクリックすると、省電力機能が働きます。
なお、省電力状態から復帰したあと、引き続き本パソコンをお使いになる場合は、Windows98 を再起動してからお使いください。
 - Outlook2000 を初めて起動したときに、競合を解消するかどうかをたずねるメッセージが表示される場合があります。この場合は、「はい」をクリックしてください。
 - MS-IME2000 は、Windows98 標準の MS-IME98 を置き換える形でインストールされています。「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」からセットアップダイアログを起動しても、「すべて削除」が選択できずアンインストールできません。

A22.Microsoft® Photo Editor について

(Office 2000 Personal モデルのみ)

- Microsoft® Photo Editor で、「効果」メニュー内の項目を実行したあとに「イメージ」メニューの「調整」を行うと、画像の一部分にしか調整が適用されない場合があります。この場合は、次の手順に従って、効果、調整の適用を行ってください。
 1. 「効果」メニューの項目(例: テクスチャ)を選びます。
次のようなメッセージが表示されたら「はい」をクリックします。
「この効果を適用するには、イメージを 24 ビットの RGB カラーに変換する必要があります。変換しますか?」
 2. 選択した効果の適用を行います。
 3. 「ファイル」メニューの「名前を付けて保存」をクリックし、ファイルを保存します。
 4. 「ファイル」メニューの「閉じる」をクリックし、ファイルを閉じます。
 5. 「ファイル」メニューの「開く」をクリックし、手順 3. で保存したファイルを再度開きます。
 6. 「イメージ」メニューの「調整」を行います。
調整が画像全体に適用されます。
- Microsoft® Photo Editor のウィンドウの上で他のウィンドウを移動すると、移動したウィンドウの輪郭などが Microsoft® Photo Editor のウィンドウに残る場合があります。この場合は、Microsoft® Photo Editor のウィンドウを、次の手順で再表示すると、輪郭などは消えます。
 1. ウィンドウの右上にある最小化ボタンをクリックし、アプリケーションを最小化します。
 2. タスクバーに最小化されたアプリケーションのボタンをクリックすると、元の大きさに戻り、再表示されます。
- Microsoft® Photo Editor の「効果」メニューの各機能をお使いのときに、表示されたウィンドウの「プレビュー」の個所に「メモリ不足です」と表示される場合があります。この場合は、次の方法で回避できる場合があります。
 - ハードディスクの空き領域を 1.33GB 以上にする。
ハードディスクの空き領域を増やす方法については、添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』をご覧ください。
 - 「システムのプロパティ」(「コントロールパネル」の「システム」アイコンをクリックすると表示されます)の「パフォーマンス」タブにある「グラフィックス」をクリックし、「ハードウェア アクセラレータ」を「なし」に設定する。
この設定を変更したあと、本パソコンの再起動が必要です。設定を変更する前に、必要なデータはすべて保存し、起動しているアプリケーションはすべて終了してください。
- Microsoft® Photo Editor の「効果」メニューの「ノートペーパー」はお使いになれません。あらかじめご了承ください。
なお、下記のアドレス(URL)より修正モジュールをダウンロードすれば使用可能です。
<http://officeupdate.microsoft.com/japan/downloaddetails/2000/notepape.htm>

A23.OASYS について

(OASYS モデルのみ)

「デスクトップ」には、一太郎など他社の形式で文書を保存できません。

A24.VirusScan について

- エマージェンシーディスクの作成には、MS-DOS プロンプトで次のように入力し初期化したフロッピーディスクをお使いください。
`Format A: /S`
- ウィルスのスキャン中は、別のアプリケーションをお使いになるなど、他の操作を行わないでください。他の操作を行うと、まれにエラーメッセージが表示される場合があります。

A25.アプリケーション「FAX 留守番電話」について

「FUJITSU FAX Print Driver」は、「FAX 留守番電話」をアンインストールするとお使いになれなくなります。

A26.「FM かんたんバックアップ/データ」について

- FMかんたんバックアップのバックアップや復元処理中に、タブの切り替えをしないでください。
- 複数のユーザを設定してお使いのときに、「FM かんたんバックアップ/データ」で「複数ユーザ登録時データ」を復元する場合は、いったんログオフし、ユーザ名の選択時に「キャンセル」をクリックしてログオンし直したあと行ってください。そのまま復元を行うと、「index をコピーできません。」というエラーメッセージが表示される場合があります。エラーメッセージが表示された場合は、「OK」をクリックして復元処理を終了させたあと、前述のようにログオンし直して再度復元を行ってください。

A27.FrontPageExpress をお使いになりたい場合

本パソコンでは、「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」からFrontPage Express を追加インストールすることはできません。インターネットにある Microsoft のホームページよりダウンロードしてください。アドレス(URL)は次のとおりです。

<http://windowsupdate.microsoft.com/>

A28.Direct X 対応のソフトをお使いになる場合

本パソコンにインストールされているディスプレイドライバは Direct X6.1 対応であり、Direct X1、X2、X3、X5、X6 のランタイムはインストールすることができません。必ず Direct X6.1 のランタイムをお使いください。

A29.Windows98 の 2000 年対応について

インターネットにあるホームページ(FM-WORLD)をご覧ください。アドレス(URL)は次のとおりです。

<http://www.fmworld.ne.jp/support/fm2000/index.html>

A30.ホームページが文字化けする場合

ホームページを表示したとき、文字化け(本来の文字とは全く関係のない文字が表示されること)する場合があります。この場合は、次の手順で正しく表示される場合があります。

1. 「表示」メニューをクリックします。
2. 「エンコード」にマウスポインタを合わせ、「日本語(自動選択)」をクリックします。
それでも正しく表示されない場合は、次の手順を試してください。
1. 「表示」メニューをクリックします。
2. 「エンコード」にマウスポインタを合わせ、「日本語(シフトJIS)」または「日本語(EUC)」をクリックします。
それでも正しく表示されない場合は、次の手順を試してください。
1. 「表示」メニューをクリックします。
2. 「エンコード」の「自動選択」にチェックマークがついていないことを確認します。
チェックマークがついている場合は、クリックしてチェックマークを外します。

A31.ボリュームについて

次の操作時にノイズが発生する場合があります。この場合、音量を下げてお使いください。

- Windows98 の起動時または終了時
- サスペンド時またはレジューム時

A32.モデムの通信中もしくは着信時の注意事項

本パソコンの内蔵モデムに、分岐アダプタを使用してモデムと電話機の両方を接続されてご使用になれる場合、データ通信中は受話器を外さないようにしてください(データ通信中に電話機を受話器が外れると、回線を受話器からの音声が入り込むことにより、データが正しく伝送されなくなる場合があります)。また、本パソコンの内蔵モデムと電話機との同時使用は出来ません。なお、FAXや自動着信するモデムなどの種類によっては、本パソコンの内蔵モデムに接続すると誤動作を生ずる場合があります。ご了承ください。

● 機種別情報

a1. CPU名の表示について

NE2/450LR,NE2/450L,MF2/400X のみ

モバイル Pentium® III の CPU を搭載の機種では、次の個所などで、CPU 名が「x86 Family 6 Model 8 Stepping X」(X は数字)と表示されます。詳しい仕様については、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』の「仕様一覧」でご確認ください。

- 「コントロールパネル」の「システムのプロパティ」
- 「アクセサリ」の「システムツール」の「システム情報」

第2章 必要に応じてお読みください

● 全機種情報

B1. キーボードの種類について

本パソコンに添付されているキーボードは、「109 日本語キーボード」という種類です。しかし、「システムのプロパティ」ウィンドウでは「106 日本語キーボード」と表示されています。アプリケーションをインストールしたときに、キーボードの種類を選択する場合がありますが、この場合は「106 日本語 (A01) キーボード (Ctrl+英数)」を選んでください。

B2. 画面の表示色について

画面の表示色を変更すると(256色に変更したときは特に)、次のようになる場合があります。

- スクリーンセーバーから復帰したときに、背景の色が反転して表示される
- アプリケーションによっては、色が正しく表示されない
- アプリケーションによっては、ウィンドウを切り替えたときに異常な色で表示される

アプリケーションのマニュアルで特に色数を変更する指示がない場合は、ご購入時の色数でお使いください(ご購入時の色数については、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』をご覧ください)。別途市販のアプリケーションをご購入したい場合は、各アプリケーションに記載されている動作環境をご確認のうえ、ご購入ください。

B3. 画面の解像度や色数の変更について

- 画面の色数および解像度を変更したとき、デスクトップ上の FMV サービスチャンネルなどの位置がずれる場合や、一部のアプリケーションでウィンドウが画面からはみ出す場合があります。この場合は、ウィンドウをドラッグして正しい位置に移動するか、色数および解像度を元の状態に戻してください。
- 「画面のプロパティ」ウィンドウ(「コントロールパネル」の「画面」をクリックすると表示されます)で解像度や色数を変更したとき、Windows98の再起動が必要な場合は、「互換性の警告」ウィンドウで「再起動しないで新しい色の設定を適用する」を選択し、「スタート」ボタンの「Windowsの終了」から再起動することをお勧めします。「互換性の警告」ウィンドウから Windows98 を再起動したとき、まれにシステムが停止する場合があります。この場合は、「Ctrl」キーと「Alt」キーを押しながら「Delete」キーを押して、Windows98 を再起動してください。
- 解像度を変更した直後に、日本語入力システムのツールバーを移動すると、移動する前の位置にツールバーが表示されたままになる場合があります。この場合は、デスクトップの何も表示されていないところ(アイコンやウィンドウなどが表示されていないところ)をクリックしてください。元の位置のツールバーが消えます。

B4. 画面にアイコン表示やウィンドウの一部などが残ってしまった場合

アプリケーションをお使いになっているときに、アイコン表示やウィンドウの一部などが画面に残ってしまう場合があります。この場合は、次の手順で、ウィンドウの再表示を行ってみてください。

1. ウィンドウの右上にある最小化ボタンをクリックし、アプリケーションを最小化します。
2. タスクバーに最小化されたアプリケーションのボタンをクリックすると、元の大きさに戻り、再表示されます。

B5. デスクトップの壁紙について

- アクティブデスクトップでは、画像データをデスクトップの壁紙にする機能(「らくらく写真館」など)が、正しくお使いにならない場合があります。この場合は、「画面のプロパティ」の「Web」タブの「Active DesktopをWebページとして表示」のチェックマークを外してください。
- 拡張子が「htm」のファイルを壁紙にしたとき、ファイルによっては正しく表示や操作ができない場合があります(フレーム表示を設定した.htm ファイルを壁紙に設定した場合など)。

B6. タイトルバーのグラデーションについて

画面の設定後、再起動を行わないと、タイトルバーのグラデーション表示が単色になる場合があります。この場合は、「画面のプロパティ」の「デザイン」タブにある「アクティブタイトルバー」の色の設定を、いったん他の色に設定し、そのあと元の色に設定し直してください。

B7. タスクバーに起動していないアプリケーションのボタンが表示される場合

- スクリーンセーバーから復帰後「Screen Saver」や名前のないボタンがタスクバーに表示される場合があります。動作には問題ありませんのでそのままお使いください。
- まれに「msime98mode」という名称のボタンがタスクバーに表示される場合があります。動作には問題ありませんのでそのままお使いください。なお、Windows98 を再起動すると、このボタンは消えます。

B8. 日本語入力システムについて

MS-DOS プロンプトを起動して日本語入力システムをオンにしたあと、「Alt」キーを押しながら「Tab」キーを押してアクティブウィンドウを切り替えたときに、MS-DOS プロンプトで日本語が入力できなくなる場合があります。この場合は、MS-DOS プロンプトを起動し直してください。

B9. 省電力機能について

● 電源の管理について

動作環境によっては、電源制御が設定時間どおりに動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

● CRT ディスプレイをお使いの方へ

省電力機能から復帰するとき、一瞬アイコンが大きく表示されてすぐ元に戻る場合がありますが、故障ではありません。また、省電力機能から正常に復帰しない場合は、電源スイッチを押し、いったん省電力機能を働かせてから、再度電源スイッチを押して復帰してください。

● LAN カードをお使いになる場合

LAN カードをお使いになる場合は、パワーマネジメントの設定を無効にしてお使いください。

- 省電力機能が働いている状態で、電源を切ったり異常終了したりすると、次のメッセージが表示される場合があります。

「コンピュータは、何度か待機状態になり、応答を停止しました。

今後、待機状態にならないようにしますか？

<はい> <いいえ>」

このメッセージが表示された場合は、必ず「いいえ」をクリックしてください。

「はい」をクリックすると、以降省電力機能をお使いになれません。

なお、上記のメッセージで「はい」をクリックしてしまった場合は、次の手順で再設定すると、省電力機能を再びお使いになることができます。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「システム」をクリックし、「デバイス マネージャ」タブをクリックし、「接続別に表示」をクリックします。
3. 「アドバンスド パワー マネジメント サポート」をクリックし、「削除」をクリックします。
4. 「デバイス削除の確認」のメッセージで「OK」をクリックします。
5. 「今すぐ再起動しますか？」のメッセージで「いいえ」をクリックします。
6. 「システムのプロパティ」ウィンドウの「閉じる」をクリックします。
7. 「コントロールパネル」の「ハードウェアの追加」をクリックします。
8. 「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウで画面の指示に従って「次へ」をクリックします。
※「インストールするデバイスは一覧にありますか？」のメッセージが表示された場合は、「デバイスは一覧にない」をクリックし、「次へ」をクリックします。
9. 「新しいハードウェアを自動的に検出しますか？」のメッセージで「はい」をクリックし、画面の指示に従って「次へ」をクリックします。
ハードウェアの自動検出が始まります。
10. ハードウェアの検出が終わったら、「完了」をクリックします。
11. 「今すぐ再起動しますか？」のメッセージで「はい」をクリックします。
本パソコンが再起動されます。これで操作は終了です。

B10.CD-ROM 読み込み中の省電力機能について

CD-ROM 読み込み中に省電力機能が働くと、復帰したときエラーメッセージが表示された青い画面になる場合があります。この場合は、「Enter」キーを押してください。元の画面に戻れます。

B11.LAN カード接続時の省電力機能について

本パソコンでは、TCP/IPまたはIPXのプロトコルを設定の場合、ネットワーク環境において省電力機能を使用することができます。

ただし次の設定において省電力機能を使用すると、復帰後に正常に通信ができなくなったり、不具合が発生する場合があります。これらの設定では省電力機能を使用しないでください。

- ネットワーク環境で通信中、またはネットワーク上の他のパソコンのファイルを使用中に手動（電源スイッチの押下や、スタートメニューからのスタンバイ選択）により省電力モードへ移行する
- 省電力機能に対応していない通信アプリケーションソフトを使用する
（事前にご使用のアプリケーションソフトが省電力機能に対応しているかどうかご確認ください）
- 省電力モードへ移行したときに、次のメッセージが表示され、「はい」を選択した場合
<ポップアップメッセージ>

【共有】

XX個のファイルが、このコンピュータに接続しているユーザによって開かれています。

コンピュータを停止するとファイルは強制的に閉じられ、ファイルを使っていたユーザはデータを失う可能性があります。

続けますか？

B12.コントロールパネルについて

「コントロールパネル」ウィンドウでアイコンを選択したときに、ウィンドウの左側（選択したアイコンの情報が表示される部分）が正しく表示されない場合があります。この場合は、次の手順でウィンドウを再表示すると正しく表示されます。

1. ウィンドウの右上にある最小化ボタンをクリックし、アプリケーションを最小化します。
2. タスクバーに最小化されたアプリケーションのボタンをクリックすると、元の大きさに戻り、再表示されます。

B13.「コントロールパネル」の「マルチメディア」について

「マルチメディアのプロパティ」ウィンドウ（「コントロールパネル」の「マルチメディア」をクリックすると表示されます）の「MIDI」タブにある、「単一の機器」の設定によっては、正しく音が再生されない場合があります。この場合は、「単一の機器」の設定を変更してください。

B14.「コントロールパネル」の「日付と時刻」について

「日付と時刻のプロパティ」ウィンドウ（「コントロールパネル」の「日付と時刻」をクリックすると表示されます）で日付や時刻を変更したあと、「適用」をクリックして設定した場合は、「OK」をクリックして「日付と時刻のプロパティ」ウィンドウを閉じてください。「キャンセル」または「閉じる」ボタンで閉じると、変更した結果が正しく設定されない場合があります。

B15.「コントロールパネル」の「システムのプロパティ」について

「コントロールパネル」の「システムのプロパティ」で表示されるメモリ容量は、実装されているメモリ容量より、少なく表示される場合があります。これはメモリの一部をハードウェアが使用しているためであり、誤表示ではありません。実装されているメモリ容量の正しい値は、BIOS セットアップで確認することができます。BIOS セットアップについては、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』をご覧ください。

B16.「コントロールパネル」の「赤外線モニタ」について

「コントロールパネル」の「赤外線モニタ」をクリックしたときに、「赤外線モニタ」ウィンドウが、「コントロールパネル」ウィンドウなど表示中のウィンドウのうしろに隠れて見えなくなる場合があります。この場合は、表示中のウィンドウを移動または最小化してください。

B17.デフラグやスキャンディスクの実行について

- Windows98 のスキャンディスクを実行中に、次のような警告メッセージが表示されることがあります。
「Windows または他のアプリケーションがこのドライブに書き込みを行っているため、再試行回数が 10 回に達しました。実行中の他のアプリケーションを終了すると、チェックが早く行われます。今後もこの警告メッセージを表示しますか？」
この警告メッセージはアプリケーションや、Windows98 のメモリスワップ機能が、ディスクに書き込みを行っているために表示されるもので、本パソコンの異常を表わすものではありません。
「いいえ」をクリックして今後このメッセージを表示しないようにするか、または「はい」をクリックしてそのまま処理を続けてください。
- デフラグやスキャンディスクを実行中に、処理が止まるなど正しく動作しない場合は、起動しているアプリケーション(VirusScan などの常駐アプリケーションも含め)をすべて終了させてから、改めてデフラグやスキャンディスクを実行してみてください。

B18.「アクセサリ」の「Windows Media Player」について

「アクセサリ」の「Windows Media Player」で、8bit モノラルの WAVE ファイルを再生するとき、再生開始時に「プツ」と音がする場合がありますが、故障ではありません。

B19.「アクセサリ」の「ペイント」について

ペイントにビットマップを貼り付け、保存せずに終了すると、保存を確認するメッセージが表示されます。そのとき「はい」をクリックして保存すると、データの色数が 256 色のときにはビットマップの色が正常に保存されない場合があります。ペイントを終了するときは、「ファイル」メニューの「上書き保存」または「名前を付けて保存」をクリックし、ビットマップを保存してから終了してください。

B20.「アクセサリ」の「拡大鏡」について

「アクセサリ」の「ユーザー補助」の「拡大鏡」は、次の操作を行うときは終了してください。

- 起動時に画面の解像度が変わるアプリケーションをお使いになるとき
- Windows98 を終了するとき

拡大鏡を起動したまま上記の操作を行うと、拡大鏡や壁紙が正しく表示されなくなる場合があります。拡大鏡が正しく表示されないときは、拡大鏡を再起動してください。壁紙が正しく表示されないときは、Windows98 を再起動してください。

B21.「アクセサリ」の「システム情報」の「システムファイルチェッカー」について

「アクセサリ」の「システム情報」の「ツール」メニューにある「システムファイルチェッカー」で、「変更のあったファイルをスキャンする」を選択して実行すると、USER.EXE が壊れている可能性のある旨のメッセージが表示される場合があります。このメッセージは、ご購入直後、または、パソコンをふりだしにもどした直後の状態でも表示されますが、この場合はファイル自体に問題はありません。

このメッセージが表示された場合は、次のように操作を進めてください。

1. 「ファイルを復元する」を選択し、「OK」をクリックします。
「ファイルの復元」ウィンドウが表示されます。
2. 「復元元」の欄に次のように入力します。
C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS
3. 「ファイルの保存先」の欄に「C:¥WINDOWS¥SYSTEM」と表示されていることを確認し、「OK」をクリックします。
「バックアップファイル」ウィンドウが表示されます。

4. バックアップファイルを作成する場合は、ファイルの保存先を指定して、「OK」をクリックします。
バックアップファイルを作成しない場合は、「スキップ」をクリックします。
※バックアップファイルを作成する場合に、指定したフォルダが存在しないときは、その旨のメッセージが表示されます。
「はい」をクリックすると、新たにフォルダが作成され、処理が先へ進みます。
「いいえ」をクリックすると、「バックアップファイル」ウィンドウに戻ります。
5. スキャンが終了した旨のメッセージで「OK」をクリックします。
6. 再起動するかどうかを確認するメッセージで「はい」をクリックします。
Windows98 が再起動されます。

B22.「アクセサリ」の「ハイパーターミナル」について

- データ送受信中に通信に失敗する場合があります。この場合は、次のいずれかの方法でお使いください。
 - 他の通信ソフトウェアを使用する(例 NIFTY Manager)
 - 他の通信速度のアクセスポイントに変更する
 - 他の通信プロトコルを使用する(例 ZMODEM など)
- 次の状況では、ハイパーターミナルが誤動作する場合があります。この場合は、一度パソコンを再起動し、モデムケーブルが正しく接続されているか、設定内容が正しいかを確認してください。
 - モデムケーブルを接続しないで電話をかける
 - PBX回線にて、トーンを待ってからダイヤルする設定にして電話をかける

B23.アプリケーションのヘルプについて

アプリケーションのヘルプをお使いのときに、選択した項目の説明が表示されず、次のようになる場合があります。

- 「このトピックは存在しません。」、「○○○.hlp ファイルが見つかりません。」といったメッセージが表示される
- 何も説明が表示されない(反応がない)
- 意味不明の説明が表示されるなど

このような場合でも、アプリケーションの動作には問題ありませんので、そのままお使いいただきかまいません。また、このような場合の詳しい対応については、各アプリケーションの開発メーカーにお問い合わせください(お問い合わせ先については、添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』の巻末をご覧ください)。

B24.アプリケーションのインストールおよびアンインストールについて

アプリケーションをインストールおよびアンインストールする際の注意は、添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』の「アプリケーションのインストール/削除」にも記載されています。合わせてご覧ください。

- Acrobat Reader4.0をアンインストールしたあと、再度インストールすると、「バージョンの競合」ウィンドウが表示される場合があります。この場合は、「はい」をクリックしてください。
- Jet-Audio Player をアンインストールしたあと、再度インストールするときに、「バージョンの競合」ウィンドウが表示される場合があります。この場合は、「はい」をクリックしてください。
- ゼンリン電子地図帳ZⅡをインストールするときに、「読み取り専用ファイルの検出」ウィンドウが表示される場合があります。この場合は、「はい」をクリックしてください。

B25.アプリケーションの「送信」機能をお使いになる場合

アプリケーションのデータをメールで送信する機能(「ファイル」メニューの「送信」、「メールで送信」などの機能)をお使いになるときは、あらかじめ、Outlook Expressなどを起動して、通常使用するメールクライアントとして選択しておいてください。

選択していないときにこの機能をお使いになると、アプリケーションが反応しなくなる場合があります。この場合は、添付マニュアル『トラブル解決 Q&A』の「Q 操作中に動かなくなった」をご覧ください。アプリケーションを強制終了してください。

なお、あらかじめインストールされているアプリケーションのうち次のアプリケーションで、前述のようになる場合があることが確認されています。

- Word2000 (Office 2000 Personal モデルのみ)
- Excel 2000 (Office 2000 Personal モデルのみ)
- 「アクセサリ」の「ペイント」

B26.音の出るアプリケーションをお使いになる場合

音の出るアプリケーション(ゲームなど)を複数同時にお使いになると、正しく音が出なくなる場合があります。音の出るアプリケーションは単独でお使いになることをお勧めします。

B27.印刷プレビューについて

アプリケーションに印刷プレビュー機能が用意されている場合、その機能での表示が、実際の印刷結果と多少異なる場合があります。この場合でも、印刷は正しく行われますのでご了承ください。

B28.WAKE UP 機能について

本パソコンの内蔵モデムで WAKE UP を行う場合、「マイクロソフト 仮想プライベート ネットワーク アダプタ」がインストールされていると WAKE UP 時にモデムが使用できません。この場合は、アダプタを削除してください。

B29.MPEG ファイルの再生について

MPEG ファイルを重ねて再生しないでください。画像が乱れる場合があります。

B30.録音について

サウンドレコーダーなどで録音するときの録音感度(ファイルに録音する音の大きさ)は、録音コントロールのウィンドウの音量つまみ

を上下することで調整できます。録音感度が低く感じられる場合には、調整してから録音してください。

調整方法は、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』の「音量を調節する」をご覧ください。

B31.録音する場合のオーディオ形式の属性について

オーディオ形式の属性として8ビットのものを選択して録音した場合に、微小な音(暗雑音)が混じる場合があります(サウンドレコーダでのラジオの音質や電話の音質がこれにあたります)。きれいな音で録音したい場合は、オーディオ形式として16ビット(CDの音質、等)を選択して録音してください。

B32.音楽をより良い音質でお聴きになりたい方へ

- CDの音楽やMIDIサウンドなどを、より良い音質でお聴きになりたい場合には、次の手順で音量コントロールのウィンドウ内の設定を変更してください。

音量コントロールのウィンドウ内のご使用になる項目以外のチェックマークをつけてください。

例) CDから音楽をお聴きになる場合の設定

1. 画面右下のタスクバーにある「スピーカ(音量)」アイコンを右クリックし、「音量コントロールを開く」をクリックします。
2. 音量コントロールのウィンドウの「全ミュート」のチェックマークが外れているのを確認し、チェックマークがついている場合は、チェックマークを外します。
3. 「CDオーディオ」または「CD」以外のチェックマークをつけます。
4. 音量コントロールのウィンドウの右上にある「閉じる」ボタンをクリックします。

なお、お聴きになったあとは、必ず初期選択状態に戻してください。

- 音量が小さいと感じる場合

音量が小さいと感じる場合は、音量ボリュームまたは「ボリュームコントロール」ウィンドウで音量を調節してください。それでも小さいと感じる場合は、ヘッドフォンを接続してご使用ください。

B33.RealPlayer について

本パソコンにインストールされている RealPlayer では、データによっては正しく再生できなかったり、エラーメッセージが表示されたりする場合があります。RealPlayer は、最新版をダウンロードしてお使いになることをお勧めします。

B34.インターネット上での RealAudio ファイル/ShockWave ファイルの再生について

インターネット上で RealAudio ファイルおよび ShockWave ファイルを再生するとき、音が途切れる場合がありますが、故障ではありません。

B35.USB 機器の増設について

複数の USB 機器を増設して同時に使用した場合、USB 機器の動作が不安定になる場合があります。この場合は、使用する機器だけを USB ポートに接続してお使いください。

B36.赤外線通信について

- タスクバーにある赤外線アイコンを右クリックして「赤外線通信を使用可能にする」を選択しても、使用可能な状態にはなりません。赤外線通信を使用する場合は、次の手順で行ってください。
 1. タスクバーにある赤外線通信のアイコンをクリックします。
「赤外線モニタ」ウィンドウが表示されます。
 2. 「オプション」タブをクリックし、「赤外線通信を使用可能にする」にチェックマークをつけます。
すでにチェックマークがついている場合は、いったんチェックマークを外して、再度チェックマークをつけてください。
 3. 「OK」をクリックします。
- 省電力機能 (Save To Disk 機能を含む) を働かせると、復帰後、赤外線通信できなくなる場合があります。この場合は、本パソコンを再起動してお使いください。

B37.通信などでパソコンから電話をかける場合

- お住まいの地域の局番が変更された場合は、ダイヤルのプロパティの設定を新しい市外局番に合わせて変更してください。
例:「0423-70-XXXX」から「042-370-XXXX」に変更された場合
変更方法は次のとおりです。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
 2. 「テレフォニー」をクリックします。
 3. 「市外局番」に設定している番号を変更し、「OK」をクリックします。
- お住まいの市外局番と同じ市外局番の別地域に電話するときは、市外局番がダイヤルされないため電話がつながりません。この場合は、一時的にダイヤルのプロパティの市外局番の設定を、別の市外局番に設定してからお使いください。
設定方法は次のとおりです。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
 2. 「テレフォニー」をクリックします。
 3. 「市外局番」に設定している番号を変更し、「OK」をクリックします。
例:042→044 など
現在お使いの市外局番とは違う市外局番にしてください。
使用後は、必ず元の市外局番に戻してください。

B38.Microsoft Exchange および Microsoft Fax について

Windows95 で用意されていた Microsoft Exchange および Microsoft Fax は、Windows98 には用意されていません。あらかじめご了承ください。

B39.Microsoft NetMeeting について

Microsoft NetMeeting をお使いの直後は、Microsoft NetMeeting 内のマイク感度の設定が最大になっています。入力した音声が発音する場合は、Microsoft NetMeeting 内のマイク感度の設定を下げてください。または、市販のヘッドホンあるいは外付マイクをご使用ください。

B40.Outlook Express について

- Outlook Express を初めて起動したときに、Outlook Express は通常使用するメールクライアントとして選択されていない旨のメッセージが表示される場合があります。この場合は、「はい」をクリックしてください。
なお、Office 2000 Personal モデルをお使いの方は、前述のメッセージで「はい」をクリックしたあと、さらに「Microsoft Outlook を起動して、デフォルトのメールクライアントに指定してください。」というメッセージが表示される場合があります。この場合は、「OK」をクリックしてください。また、メールソフトとして Outlook Express を通常お使いになる場合は、このあと次の設定を確認してください。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
 2. 「インターネットオプション」をクリックし、「プログラム」タブをクリックします。
 3. 「電子メール」の欄が「Outlook Express」になっているか確認します。
「Outlook Express」以外に設定されている場合は、「Outlook Express」に変更します。
 4. 「OK」をクリックし、「コントロールパネル」ウィンドウを閉じます。
- Outlook Express のプレビューウィンドウで、全角文字を含んだファイル名のファイルが添付されたメッセージを表示すると、意味不明の文字が表示される(文字化けする)場合があります。この場合は、文字化けするメッセージをダブルクリックし、メッセージ用のウィンドウに内容を表示すると、正しく表示されます。

B41.Outlook2000 について

(Office 2000 Personal モデルのみ)

「挿入」メニューの「オブジェクト」を使って、動画ファイルや音声/音楽関連ファイルを貼り付けた場合に、貼り付けたファイルの再生や編集ができない場合があります。あらかじめご了承ください。

B42.Lotus 1-2-3 2000 について

(一太郎,OASYS モデルのみ)

「ファイル」メニューの「インターネット」の「Web からデータの読み込み」でデータを読み込んだ場合に、データによっては日本語が正しく表示されない場合があります。

B43.Net-It Now!について

(一太郎,OASYS モデルのみ)

- Net-It Now!とは
1-2-3 2000 でワークブックやワークシートまたは範囲をjDOC形式という Web ブラウザで表示できる形式に変換するためのプログラムです。1-2-3 2000 上で、「インターネット」-「Webページ変換」メニューを使用して変換してください。
- Net-It Now!のプリンタドライバについて
1-2-3 2000 上でjDOC形式という Web ブラウザで表示できる形式に変換するには、Net-It Now!プリンタドライバを使用します。Net-It Now!プリンタドライバは、1-2-3 2000 をインストールすると、自動的にインストール及びセットアップされるため、特に設定する必要がありません。Net-It Now!がインストール/セットアップされている環境では、Windows の「プリンタ」ダイアログボックスに Net-It Now!のアイコンが登録されます。ただし、Net-It Now!は、1-2-3 2000 またはその他のスーパーオフィス 2000 製品以外のアプリケーションから使うことはできません。
- 「プログラム」メニューにある「Net-It Now! Starter Edition」について
「プログラム」メニューにある「Net-It Now! Starter Edition」からは、Net-It Now!のオンラインヘルプ、Readme ファイル、アップグレード用プログラム(全て英語版)を起動できます。ただし、1-2-3 2000 でjDOC形式という Web ブラウザで表示できる形式に変換する際に起動する必要はありません。

B44.「Word2000&Excel2000の虎の巻」、「一太郎10&Lotus1-2-3 2000の虎の巻」について

デモ画面を再生中に、マウスをクリックすると再生が中止される場合があります。この場合は、もう一度マウスをクリックすると再開されます。

B45.OASYSについて

(OASYSモデルのみ)

- OASYS Image では、元の形式から異なる形式への変更はできません。あらかじめご了承ください。
- 長い名前のフォルダ(My Documents フォルダなど)に保存した、拡張子が「pcd」などのファイルをOASYS Imageで開こうとすると、ファイルが正しくない旨のエラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、ファイルの保存先を変更してから開いてください。
- OASYS Image ではプレビューを有効にしたままpcdファイルを開くことができません。あらかじめご了承ください。エラーメッセージが表示された場合は「閉じる」をクリックしてください。pcd ファイルを開く場合は「開く」ウィンドウで「文字だけ」ボタンをクリックし、プレビューを無効にしてください。
- OASYS マニュアルをお使いになる場合は、OASYS の CD(データディスク)をセットしてから起動してください。CD-ROMをセットしなかった場合はCDViewが起動します。

B46.OASYS(V7.0)の「ユーザ定義文字の変換」について

(OASYSモデルのみ)

OASYS V7.0の「ユーザ定義文字の変換」は、OASYS V4.1以前の漢字フォントエディタで作成されたユーザ定義文字(外字)を、OASYS V7.0で利用できるWindows外字に変換する機能です。ご購入時の状態ではご使用になれません。

B47.FM手帳について

- FM手帳をお使いのときに、次のようなメッセージが表示される場合があります。
「[[住所録データの新規作成/編集]ダイアログボックスが開けません。他のアプリケーションを終了させてください。]
この場合は、起動しているアプリケーションをすべて終了し、パソコンの電源を一度切ってください。そのあと、パソコンを再度起動し、操作し直してください。
- 「FKシンボルゴシック」フォントについて
「FKシンボルゴシック」フォントは、ご購入時の状態ではお使いになれません。そのためフリーダイヤルのマーク等がご利用できません。お使いになる場合は、「C:\Program files\Pim\fonts\F5dyfksk.ttf」ファイルを「C:\Windows\Fonts」フォルダにコピーしてください。ただし、ファイルをコピーすると、「Visual Basic Editor」(Word2000またはExcel2000の「ツール」メニューの「マクロ」から起動できます)で表示される文字が正しく表示されませんので、あらかじめご了承ください。
また、FM手帳をフォントと共に再度インストールした場合も、「Visual Basic Editor」での表示が前述のようになります。この場合は、「C:\Windows\Fonts\F5dyfksk.ttf」ファイルを削除してください。

B48.FM便利ツールについて

- CD-ROMを使ったアプリケーションの使用中に、CDドライブのEjectボタン(NEシリーズのワンタッチボタンのStop/Eject(停止/取り出し)ボタンを含む)を押さないでください。Ejectボタンを押すとCD-ROMが取り出されます。これによりアプリケーションが誤動作したり、システムが停止する場合があります。
- 「ユーザ変更」にてユーザを変更しようとする場合、パスワードの入力を求められます。パスワードを忘れてしまった場合や、パスワードを設定していない場合には、SUPERWORDの9文字の英字を、パスワードとして入力してください。ユーザを変更することができます。

B49.FM キャプチャについて

- FMキャプチャでビデオを撮影中に、USB カメラをはずさないでください。エラーメッセージが表示される場合があります。この場合は「閉じる」をクリックしてエラーメッセージを閉じ、Windows98 を再起動してください。
- FJV Video Player (FJV 形式のビデオを見るためのプログラム)を送る前に、そのメールを受け取る人のパソコンに、DirectX 6.1 以上がインストール済みであることを確認してください(本パソコンは、DirectX 6.1 がインストールされています)。インストールされているかどうか分からない場合には、MPEG1 形式でビデオを送るようにしてください。

B50.FM Advisor について

● CPU 情報について

FM Advisor の「CPU 情報」の表示を行った際に、CPU 名、CPU クロックが正しく表示されない場合があります。本パソコンの詳しい仕様については、添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』の「仕様一覧」でご確認ください。

B51.らくらく写真館について

PhotoManager の「画像出力」メニューの「一括加工」をお使いのときに、「サーバー使用中」のメッセージが表示される場合がありますが、アプリケーションの動作には問題ありませんので、そのまま続けてお使いください。

B52.らくらく写真館の Photoware/FDi 注文ソフトについて

らくらく写真館の Photoware/FDi 注文ソフトを使用後に、プリンタから印刷ができなくなる場合があります。その場合はいったんプリンタドライバを削除し、再度インストールすることで正常に印刷することができます。プリンタドライバの削除・インストールの方法は、プリンタに付属の取扱説明書を参照してください。

B53.らくらくメール BOX について

- らくらくメール BOX で半角英字を入力すると、文字の周りが帯状に光り、正しく表示されていないように見える場合があります。アプリケーションの動作には問題ありませんので、そのまま続けてお使いください。
- 「インターネットに接続できません。Windows の「コントロールパネル」の「ネットワーク」でネットワークの接続を確認してください。」というメッセージが表示されメールの送受信ができない場合は、ダイヤルアップのパスワードが保存されていない可能性があります。この場合は、添付マニュアル『使いこなす本 インターネット編』の「インターネットの始め方」を参照に、パスワードを保存してください。

B54.PMSet98 について

PMSet98 のインジケータを表示してお使いの場合は、次の点にご注意ください。

- PMSet98 の起動中は、「Alt」キーを押しながら「F4」キーを押しても「Windows の終了」ウィンドウが表示されない場合があります。この場合は、タスクバーの何も無いところをクリックしたあと、再度操作するか、「スタート」ボタンから「Windows の終了」を選択してください。

B55.ゲームをお使いになる場合

GAMEPACK2000、SANRIO TINY PARK4 などのゲームをお使いの最中は、次のことを行わないでください。

- 省電力機能を働かせる
- 画面の解像度、色数を変更する

ゲーム中に上記のことを行うと、エラーメッセージが表示されたり、ゲームが正しく動かなくなったりする場合があります。この場合は、起動中のアプリケーションをすべて終了させてから、Windows98 を再起動してください。また、「スタート」ボタンから Windows98 を再起動できない場合は、「Ctrl」キーと「Alt」キーを押しながら「Delete」キーを押して、Windows98 を強制的に再起動してください。

なお、お使いの機種により添付されているゲームは異なります。詳しくは、添付のマニュアル『FMV 総合案内』の「アプリケーション一覧」をご覧ください。

B56.文字が正しく表示されない場合

画面上に意味不明の文字が表示されたり、文字が横向きに表示されるような場合は、「FM 一発修正」を実行すると問題が解決できる場合があります。「FM 一発修正」について詳しくは、「B60.「FM 一発修正」について」をご覧ください。

B57.ウィンドウの「最小化」「最大化」「閉じる」ボタンが正しく表示されない場合

「FM 一発修正」を実行すると問題が解決できる場合があります。「FM 一発修正」について詳しくは、「B60.「FM 一発修正」について」をご覧ください。

B58.フォントがインストールできない場合

「FM 一発修正」を実行すると問題が解決できる場合があります。「FM 一発修正」について詳しくは、「B60.「FM 一発修正」について」をご覧ください。

B59.ネットワークプロトコルが追加できない場合

「FM 一発修正」を実行すると問題が解決できる場合があります。「FM 一発修正」について詳しくは、「B60.「FM 一発修正」について」をご覧ください。

B60.「FM 一発修正」について

次のような問題に対して、「FM 一発修正」を実行すると解決できる場合があります。

- 画面上に意味不明の文字が表示されたり、文字が横向きに表示されるような場合
- ウィンドウの「最小化」「最大化」「閉じる」ボタンが正しく表示されない場合
- フォントがインストールできない場合
- ネットワークプロトコルが追加できない場合

「FM 一発修正」の実行方法は次のとおりです。

1. 全てのアプリケーションを終了します。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
3. 「名前」に次のように入力し「OK」をクリックします。
C:¥FJUTY¥FMCURE¥FMCURE.EXE
4. 「OK」をクリックします。
5. 「はい」をクリックします。
Safe モードで Windows98 が起動します。
6. 「OK」をクリックします。
「FM 一発修正」の処理が終了した旨のメッセージが表示されます。
7. 「OK」をクリックします。

本パソコンの電源が切れます。これで「FM 一発修正」の実行は終了です。

「FM 一発修正」は必ず「C:¥FJUTY¥FMCURE¥FMCURE.EXE」から実行してください。「アプリケーション CD」から起動すると、正常に動作いたしません。

B61.筆ぐるめについて

- 筆ぐるめを再度インストールすると「Visual Basic Editor」(Word2000 または Excel2000 の「ツール」メニューの「マクロ」から起動できます)で表示される一部の半角文字が読みにくくなる場合があります。この場合は、「C:¥Windows¥Fonts¥Bgpenkb.ttf」ファイルを「C:¥Program files¥Fgw¥」フォルダに移動してください。
- 筆ぐるめで次の現象が発生した場合は、「アプリケーション CD1」の Update フォルダにある Readme をお読みになり、Fgw70Up1 をインストールしてください。現象が発生しなくなる場合があります。
 - 余白を設定すると、エラーメッセージが表示される。または、アプリケーションが反応しなくなる。
 - 作成したレイアウトが表示されない。
 - 住所録を開こうとすると、エラーメッセージが表示される。
 - 名前のない住所録が作成されてしまう。

B62.筆ぐるめの住所録データを FM 手帳に読み込むときの注意

筆ぐるめで作成した住所録データを、FM 手帳の住所録に読み込む場合、双方が管理するデータ項目の単位が異なるため、次の点にご注意ください。

- 筆ぐるめの住所録データを CSV 形式で保存してください。保存する手順については、筆ぐるめのマニュアルをご覧ください。
- FM 手帳で CSV 形式のデータの読み込みを行う際は、CSV ファイルの読み込みウィザードの指定項目で、次の点にご注意ください。
 - 「種類と CSV ファイル名の設定」ウィンドウ
 - 「読み込む CSV ファイルの種類」には「筆ぐるめ→住所録」を選択してください。
 - 「項目の関連付け」ウィンドウ
 - 「CSV ファイルの先頭行を項目名とする」のチェックマークをつけてください。
 - 「本体の項目」と「CSV ファイルの項目」の関連付けを変更する必要はありません。
- 読み込みが完了したデータは、FM 手帳の「住所録データの編集」機能で、次のように編集してからお使いください。
 - 筆ぐるめの「氏名」、「氏名読み」に姓名を空白文字で区切らずに入力していた場合、「個人情報」タブにある「姓」、「フリガナ姓」に入っていますので、それぞれ姓名を分けてください。
 - 「名前」をリストから選択してください。
 - 筆ぐるめの「自宅住所」は、空白文字を手掛かりに、「自宅」タブの「都道府県」、「市区郡庁」などに分かれて入っていますので使いやすいうように分け直してください。
 - また、同様に「会社住所」は、「勤務先」タブに入っていますので分け直してください。

B63.タッチおじさんメールについて

- タッチおじさんメールをお使いのときに、「ダイヤルアップの接続」ウィンドウで「キャンセル」をクリックすると、メールまたはダイヤルアップネットワークの設定が違う旨のメッセージが表示される場合があります。この場合は、タッチおじさんメールを一度終了し、起動し直してください。
- タッチおじさんメールは、プロバイダによっては受信したメールの文字が正しく表示されない場合があります。あらかじめご了承ください。なお、@nifty では問題なく動作します。

B64.サンリオアクセサリーについて

- スタートメニューの「アナログ時計」の作業用フォルダは、ご購入時は次のように設定されています。
“C:\¥Program Files¥SANRIOAC¥アナログ時計¥”（「アナログ」は半角カタカナです。）
なお、サンリオアクセサリーのみアンインストールし、再度インストールした場合、インストール直後は上記のように設定されません。ご購入時の状態に戻す場合は、再インストール後に次の手順で設定し直してください。
 1. 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「サンリオアクセサリー」、「アナログ時計」の順にマウスポインタを合わせて右クリックします。
 2. 表示されたメニューの「プロパティ」をクリックします。
 3. 「アナログ時計のプロパティ」ウィンドウの「作業用フォルダ」の欄に前述のパス名を入力し、「OK」をクリックします。
- 「デスクトップマスコット」を起動しているときは、デスクトップ上での範囲選択（アイコンを複数選択するときなどに利用）を正しく行うことができず、範囲を示す点線が画面に残る場合があります。
デスクトップ上で範囲選択を行う場合は、「デスクトップマスコット」を終了してください。また、点線が残った場合は、デスクトップの何も無いところにマウスポインタを合わせて右クリックし、表示されたメニューの「最新の情報に更新」をクリックすると、点線が消えます。
- 「アナログ時計」を右クリックすると表示されるメニューから「この位置に固定」をクリックし、「この位置に固定」にチェックマークをつけた場合（時計の位置を固定した場合）、「アナログ時計」をクリックすると、「アナログ時計」が画面左上に移動し、画面からはみ出して表示されます。この場合は、「この位置で固定」を再度クリックしてチェックマークを外したあと（位置の固定を解除したあと）、「アナログ時計」をドラッグして位置を調整し直してください。

B65.VirusScan について

- VirusScan でアップデート中に処理を中断しないでください。中断した場合は電話回線が接続された状態のままになってしまう場合があります。この場合はタスクバーのアイコンから回線を切断してください。詳しくは添付マニュアル『使いこなす本インターネット編』の「インターネットの終わり方」を参照してください。
- VirusScan を再度インストールすると、Windows98 の起動と同時にアップデートを促す画面と Scan32 が起動する場合があります。アプリケーションの動作には問題ありませんので、そのまま続けてお使いください。

B66.Jet-Audio Player について

- MIDI プレーヤもしくはデジタルオーディオプレーヤで、アルバム作成を行うときに複数のファイルを選択し「開く」をクリックすると、正しくアルバムが作成されません。複数のファイルを同時に登録するときは複数のファイル選択後、追加ボタン(下向きの矢印のボタン)をクリックしてアルバムを作成してください。
 - MIDIプレーヤで再生中に音程を下げると、表示の符号が「+」(プラス)のままになっている場合があります。アプリケーションの動作には問題ありませんので、そのまま続けてお使いください。
 - ミキサー部分の文字が重なって表示されてしまう場合があります。あらかじめご了承ください。
- 上記の問題は NOVAC Homepage に掲載されている修正プログラムで解消できる場合があります。NOVAC Homepage へは Jet-Audio Player を起動したときに表示される、「Jet-Audio Update」ボタンをクリックすることで接続可能です。なお、この機能をご利用になるにはインターネットへ接続可能な状態に設定しておく必要があります。

B67.ポケベルコール機能について

10 円メールマスターやポケベルダイヤラのポケベルコール機能をお使いになり、エラーが表示されたり、相手に送信できない場合は、次の原因が考えられます。

- 送信相手が受信エリア外にいる
- 送信相手のポケットベルの電源が入っていない

B68.携帯電話を使って通信する場合

所在地情報を複数登録している環境で、10 円メールのように所在地情報の指定ができないアプリケーションをお使いの場合は、あらかじめ次の手順で設定を行ってください。

1. 「コントロールパネル」の「モデム」をクリックします。
2. 「ダイヤルのプロパティ」をクリックします。
3. 「登録名」で携帯電話用に作った登録名を選択します。
4. 「OK」をクリックします。

B69.マイクとスピーカーを使った通話機能について

電話機能の留守番電話などの通信アプリケーションで、マイクとスピーカーを使った通話機能をお使いになる場合は、次の点にご注意ください。

- 雑音の多い環境での使用は避けてください。マイクに雑音が入ってしまい、十分な通話レベルが確保できない場合があります。
- マイクとスピーカーを使って通常の通話をする場合、マイクに近づきすぎたり、過大な音声で話をする、相手に聞こえる音声が途切れ途切れになることがあります。マイクから約30cm程離して対話してください。また、話し始めの音声が相手に聞こえにくいことがあります。
- BIBLO に内蔵されているスピーカーおよびマイクを同時に使用すると、音量によってはハウリングを起こす場合があります。また、内蔵のスピーカーとマイクでは十分な通話レベルを確保できない場合があります。この場合は、市販のヘッドホン/マイクをお使いください。

B70.ナンバーディスプレイを契約されている電話回線をお使いの方へ

FAX自動受信などを行う場合は、お使いの通信アプリケーションの応答するまでのコールの回数を3回以上に設定してください。

B71.FAX 留守番電話について

- FAX の受信がうまくいかない場合は、次の手順で設定を変更してください。
 1. 「留守番電話」の「機能」をクリックし、「設定」をクリックします。
 2. 表示されたウィンドウの「留守番設定」タブをクリックします。
 3. 「着信モード」が「FAX のみ」に設定されているか確認します。「FAX のみ」以外に設定されている場合は、「FAX のみ」に設定します。
 4. 「着信までの呼び出し回数」を「4 回」以下に設定し、「OK」をクリックします。
これで設定は終了です。
- 本モデムで FAX 留守番電話を使って FAX 受信を行う場合、相手の FAX 装置によっては正常に受信できない場合があります。そのような場合は、次の方法で対処願います。
 - 短い応答メッセージを作る(10 秒以下)
- 通話再生の音量を調節する場合は、ボリュームコントロールの再生側の Wave ボリュームを操作することにより、音量の調整が可能になります。
- FAX 留守番電話の応答メッセージに使用する音声ファイルは 8KHz、16 ビット、モノラルに対応したファイルをお使いください。
- FAX 留守番電話の「電話/FAX」のモードで留守番待機中に FAX 受信すると、録音メッセージに FAX の発信音が録音されることがあります。
- 「通話再生」「通話録音」機能について
-「通話再生」、「通話録音」機能はお使いになれません。
- 留守状態にしているときに省電力機能が働いた場合は、省電力機能から復帰したあと、留守番電話をいったん終わらせ、起動し直してください。そのままお使いになると、電話がかかっても留守番電話が反応しない場合があります。
- **スピーカーフォン機能で通話中の FAX 受信について**
スピーカーフォン機能で通話中に FAX 受信する場合、自動的に FAX 受信に切り替わらない場合があります。あらかじめご了承ください。
- FAX 留守番電話は、PDC コネクタに携帯電話を接続して通信する場合にはお使いになれません。

B72.FAX 留守番電話や FAX を使って自動受信を行う場合

留守番電話や FAX 自動受信のアプリケーションをお使いになる場合、省電力機能が働くとアプリケーションが機能しないため動作しません。この場合は、次の手順で、電話が着信したら省電力機能が解除されるように設定してください。

1. タスクバーの PMSet98 をクリックします。
2. 「その他」タブの「電話が鳴ったら、パソコンを元の状態に戻す」をクリックしてチェックマークをつけ、「OK」をクリックします。
3. 「OK」をクリックします。
これで設定は終了です。

本パソコンをバッテリーでお使いの場合、上記の設定を行うと、省電力機能が働いているときの消費電力が増加するため省電力機能の保持時間が短くなります。この場合は、AC アダプタをお使いください。

B73.メモリアイタルリンクについて

メモリアイタルリンクでデータを編集中に Windows98 を終了させると、編集中のデータが保存されません。必ずデータを保存してから Windows98 を終了させるようにしてください。

B74.メモリダイヤルリンクに携帯電話のデータをダウンロードした場合

メモリダイヤルリンクのデータをFM手帳に反映させた場合、PHSのデータは「携帯/PHS2」に保存されます。ご購入の状態ではFM手帳は「携帯/PHS2」を表示していません。次の手順で表示を有効にしてください。

1. FM手帳の「設定」メニューをクリックします。
2. 「運用レベル」から「スーパーユーザー」をクリックします。
3. FM手帳の「設定」メニューをクリックし、「表示項目の設定」をクリックします。
4. 「表示項目の設定」ウィンドウで「表示可能な項目の種別(T)」に「自宅」を選択し、「表示可能な項目」に「携帯/PHS2」を選択します。
5. 「追加(A)」ボタンをクリックし、「OK」をクリックします。

B75.FAX留守番電話とメモリダイヤルリンクを同時にお使いになる場合

FAX留守番電話とメモリダイヤルリンクは同時にお使いになることはできません。同時に起動してしまった場合、「Fujitsu SOFT PDC モデムがインストールされていません。」または、「TAPIの資源に問題があるかもしれません」といったメッセージが表示されます。この場合は両方のアプリケーションを終了し、再度、お使いになりたいアプリケーションだけを起動してください。

B76.インターネット(@nifty)無料体験について

インターネットへ接続するための設定を済ませたあと、「インターネット(@nifty)無料体験」をお使いになると、Internet Explorerなどを起動したときに、「ダイヤルアップの接続」ウィンドウが表示されず、インターネットへ接続できなくなる場合があります。この場合は、次の手順に従って、インターネットの設定を変更してください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「インターネットオプション」をクリックし、表示されたウィンドウの「接続」タブをクリックします。
3. 「ダイヤルアップの設定」の「通常の接続でダイヤルする」をクリックし、「OK」をクリックします。
これで設定は終了です。

B77.AOLについて

- ニフティマネジャーで、インターネット経由でメールを送信するときに、全角文字を含んだファイル名のファイルをメールに添付した場合、そのメールをAOLで受信すると、まれに添付ファイルを正しく受信できない場合があります。
- 「チャット」メニューの「チャットロビーに入る」をクリックすると、「リッチテキストが表示できませんでした。」「メモリ不足のためこのアプリケーションを実行出来ません。」というメッセージが交互に表示され、操作を先に進めることができなくなる場合があります。この場合は、添付マニュアル「トラブル解決 Q&A」の「Q 操作中に動かなくなった」をご覧ください。
- AOLではHatch insideの短縮記号はお使いになれません。あらかじめご了承ください

B78.ユーザ登録や加入手続きをオンラインで行うときの注意

「FMVソフトウェア登録」などを使って、ユーザ登録や加入手続きを本パソコンからオンラインで行うときは、通信中に処理を中断したり、電話回線を切断したりしないでください。登録に失敗したり、タイミングによっては、中断したはずの手続きが成立してしまったりする場合があります。

B79.複数のユーザが使用する設定で本パソコンをお使いの場合

一部のアプリケーションは、複数のユーザが使用する設定（「コントロールパネル」の「ユーザー」で複数ユーザの個人用設定を行った場合など）には対応していません。あらかじめご了承ください。

なお、あらかじめインストールされているアプリケーションのうち一部のアプリケーションでは、複数のユーザが使用する設定のとき、次のようになることが確認されています。

- アンインストールしても「スタートアップ」フォルダからショートカットが消えない場合がある
- アンインストール後、再度インストールしても、アプリケーションが正しく起動しない場合がある
- アプリケーションにあらかじめ登録されたデータなどを複数のユーザで共有できない場合がある

B80.デバイスの削除/ドライバの更新について

「システムのプロパティ」の「デバイスマネージャ」において、特にサウンドドライバの「デバイスの削除」または「ドライバの更新」を行う場合、「システムの変更」ウィンドウで「はい」をクリックしたあと、再起動に非常に時間がかかる場合があります。

B81.USB キーボードをお使いの方へ

- 「コントロールパネル」の「ユーザー補助」内の「フィルタキー機能」の「設定」にて「ショートカットキーを使う」を有効とし、「右 Shift」キーを 8 秒以上押し続けてもショートカットが効きません。コントロールパネルから「フィルタキー機能」の設定メニューを開くようにしてください。
- MS-DOS モードでお使いのときに、USB キーボードから一度に大量の文字を入力すると、まれにシステムが停止する場合があります。

B82.ACPI の設定でネットワーク上のファイルを利用する場合の注意

ACPI の設定でネットワーク上のファイルを編集しているときは、省電力機能を働かせないでください。省電力状態になると、編集中のファイルが正しく保存できない場合があります。

B83.MS-DOS モードで CD-ROM をお使いになる場合

ご購入時はドライバが組み込まれていないため、MS-DOS モードで CD-ROM がお使いになれません。Windows98 を起動した状態にして、次の手順でドライバを組み込んでください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」の順にマウスポインタを合わせ、「メモ帳」をクリックします。
2. 「ファイル」メニューの「開く」をクリックし、「ファイル名」に次のように入力します。
`c:\¥config.sys`
3. 「開く」をクリックします。
4. 次の行の「REM」を削除します。
`REM DEVICE=C:\¥REALMODE¥OAKCDROM.SYS /D:OEMCD001`
↓
`DEVICE=C:\¥REALMODE¥OAKCDROM.SYS /D:OEMCD001`
5. 「ファイル」メニューの「メモ帳の終了」をクリックします。
「変更を保存しますか」というメッセージが表示されます。
6. 「はい」をクリックします。
7. 再度メモ帳を起動し、「ファイル」メニューの「開く」をクリックし、「ファイル名」に次のように入力し「開く」をクリックします。
`c:\¥windows¥dosstart.bat`
8. 次の行の「REM」を削除します。
`REM MSCDEX.EXE /D:OEMCD001 /l:× (×は機種によって異なります)`
↓
`MSCDEX.EXE /D:OEMCD001 /l:×`
9. 「ファイル」メニューの「メモ帳の終了」をクリックします。
「変更を保存しますか」というメッセージが表示されます。
10. 「はい」をクリックします。
11. 「スタート」ボタンをクリックし、「Windows の終了」をクリックします。
「Windows の終了」ウィンドウが表示されます。
12. 「再起動する」をクリックし、「OK」をクリックします。
Windows98 が再起動され、設定が有効になります。
13. 「スタート」ボタンをクリックし、「Windows の終了」をクリックします。
「Windows の終了」ウィンドウが表示されます。
14. 「MS-DOS モードで再起動する」をクリックし、「OK」をクリックします。
MS-DOS モードで CD-ROM が使用可能になります。

B84.ご購入時に内蔵されている CD ドライブの専用ドライバをお使いになる場合

添付の「アプリケーション CD2」には、ご購入時に内蔵されている CD ドライブの専用ドライバ (MS-DOS モードで利用可能なドライバ) が用意されています。この専用ドライバをお使いになる場合は、Windows98 を起動した状態にして、次の手順に従ってドライバを組み込んでください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「システム」をクリックし、表示されたウィンドウの「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
3. 「CD-ROM」の左側の「+」をクリックし、「CD-ROM」の下に表示された名称を確認します。
4. 確認ができれば、「OK」をクリックします。
5. 「アプリケーション CD2」を CD ドライブにセットします。
6. MS-DOS プロンプトなどを使って、「アプリケーション CD2」内の次のファイルを、「C:¥REALMODE¥」フォルダにコピーします。手順 3. で確認した名称に従って、それぞれ次のファイルをコピーしてください。
 - 「SONY CD-RW CRX100E」の場合
E:¥CdsoneySo_atapi.sys
 - 「NEC CD-ROM DRIVE:282」の場合
E:¥Cdnec¥NE_ATAPI.SYS
 - 「TOSHIBA CD-ROM XM-6602B」または「TOSHIBA CD-ROM XM-7002B」の場合
E:¥Cdtshiba¥TO_ATAPI.SYS
 - 「MATSHITA CR-1750」の場合
E:¥Cdmatsu¥SR_ASPI.SYS
E:¥Cdmatsu¥ATAPIMGR.SYS
※上記の 2 つのファイルをコピーします。
 - 「CD-224E」の場合
E:¥Cdteac¥TE_ATAPI.SYS
 - 「UJDA170」または「UJDA130」または「UJDA310」の場合
E:¥Cdkme¥KMEATAPI.SYS「E:」は、お客様がお使いの CD ドライブのドライブ名となります。
7. コピーが終わったら、「アプリケーション CD2」を CD ドライブから取り出します。
8. 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」の順にマウスポインタを合わせ、「メモ帳」をクリックします。
9. 「ファイル」メニューの「開く」をクリックし、「ファイル名」に次のように入力します。
c:¥autoexec.bat
10. 「開く」をクリックします。
11. 表示された内容の末尾に次の行を追加します。
C:¥DOS¥MSCDEX.EXE /D:MSCD001
12. 「ファイル」メニューの「メモ帳の終了」をクリックします。
「変更を保存しますか」というメッセージが表示されます。
13. 「はい」をクリックします。
14. 再度メモ帳を起動し、「ファイル」メニューの「開く」をクリックし、「ファイル名」に次のように入力し「開く」をクリックします。
c:¥config.sys
15. 先頭に LASTDRIVE の指定を一行加えます。すでに LASTDRIVE の指定がされている場合は、それを変更してください。指定する値はシステムで使用するドライブの数に対応する文字か、それ以上の文字を指定してください。例: LASTDRIVE=Z

16. 表示された内容の末尾に次の行を追加します。手順 3.で確認した名称に従って、それぞれ次のように追加してください。

- CD-ROMドライブが CRX100E(SONY)の場合
DEVICE=C:¥DOS¥SO_ATAPI.SYS /D:MSCD001
- CD-ROMドライブが DRIVE:282(NEC-HE)の場合
DEVICE=C:¥DOS¥NE_ATAPI.SYS /D:MSCD001 /SM PIO=4
- CD-ROMドライブが XM-6602B, XM-7002B(東芝)の場合
DEVICE=C:¥DOS¥TO_ATAPI.SYS /D:MSCD001
- CD-ROMドライブが CR-1750(松下寿)の場合
- CD-ROMドライブが CD-224E (TEAC)の場合
DEVICE=C:¥DOS¥TE_ATAPI.SYS /D:MSCD001
または同じポートに他の HDD 等の IDE デバイスを接続している場合、
以下の/Nを追加してください
DEVICE=C:¥DOS¥TE_ATAPI.SYS /D:MSCD001 /N
- CD-ROMドライブが UJDA170, UJDA130(九州松下)の場合
- CD-R/RWドライブが UJDA310(九州松下)の場合
DEVICE=C:¥DOS¥KMEATAPI.SYS /D:MSCD001 /P:S /O:M
(MF2/400X または MF2/40 の場合は /P:P /O:S)
また Windows のディレクトリの中にある、SYSTEM.INI の「386Enh」セクションには
VirtualHDIRQ=OFF の指定を加えてください。すでに VirtualHDIRQ の指定がある場合は
OFF の指定に変更してください。
(例: VirtualHDIRQ=OFF)

「B83.MS-DOS モードで CD-ROM をお使いになる場合」の手順 4.に従って「REM」を削除している場合は、その行を元の状態に戻してください。

17. このあとは、「B83.MS-DOS モードで CD-ROM をお使いになる場合」の手順 5.以降に従って操作を続けます。

すべての操作が終わると、MS-DOS モードで専用ドライバが使える状態になります。

B85.ノイズについて

本パソコンの起動時、終了時、およびサスペンド/レジューム時において、音(ノイズ)がわずかに聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

● 機種別情報

b1.画面の解像度や色数の変更について

NE2/45,MFシリーズのみ

「画面のプロパティ」内で、ヘルプウィンドウが表示されない場合があります。あらかじめご了承ください。

b2.マウスポインタの表示について

NEシリーズのみ

マウスポインタを「Windows スタンダード(大きいフォント)」などに設定していると、色数や解像度の変更やウィンドウのドラッグ中に、マウスポインタの表示が、砂時計形状から矢印形状に戻らない場合があります。この場合は、マウスポインタをタスクバー上へいったん移動させることで、正常に戻ります。

b3.電子地図手帳 Z II をインストールする場合

NE2/450LR,NE2/450L,NE2/43LR,NE2/43L,NE2/40E のみ

電子地図手帳 Z II のインストールで「情報確認」画面で「次へ」をクリックした後、「電子地図手帳 Z II オンラインユーザ登録インストール」ウィンドウが後ろに隠れてしまう場合があります。この場合は「Alt」キーを押しながら「Tab」キーを押して、「電子地図手帳 Z II オンラインユーザ登録インストール」ウィンドウを前面に表示させてください。

b4.ゼンリン電子地図手帳 Z II について

NE2/450LR,NE2/450L,NE2/43LR,NE2/43L,NE2/40E のみ

- 「編集」メニューから描いた鎖線の図形は、正しく印刷されない場合があります。あらかじめご了承ください。
- サポートバーの「施設」タブには、施設名称が一つも登録されていないジャンルがあります。あらかじめご了承ください。
- 3D 表示の状態でゼンリン電子地図手帳 Z II を終了すると、エラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、エラーメッセージのウィンドウのボタンをクリックしてウィンドウを閉じたあと、Windows98 を再起動してください。

b5. DragonSpeech について

NE2/450LR,NE2/450L,NE2/43LR,NE2/43L のみ

- 音声コマンドの一部が利用できないアプリケーションがあります。あらかじめインストールされているアプリケーションのうち、次のアプリケーションで、前述のようになることが確認されています。
 - エクスプローラ
 - Word2000
 - Excel2000
- DragonSpeech による音声入力の花子 10 ではご使用できません。あらかじめご了承ください。

b6.画面の色数を 32bit にした場合の注意

NE2/45,MF2/400X,MF2/40 のみ

色数を 32bit に設定した時に、画面のプロパティを開くと画面の配色が正しく表示されない場合があります。正しい配色に修正するには、Windows98 を再起動してください。

b7. ACPI モードでマウスドライバの更新、削除を行った場合

NEシリーズ,MF2/400X,MF2/40 のみ

ACPI モードで、マウスドライバの更新、削除を行った場合、マウスが動作しなくなる場合があります。この場合は、キーボードを用いて画面の指示にしたがい本パソコンを再起動してください。

b13.デバイスの使用について

NE2/45 のみ

ALi Audio Accelerator WDM driver を使用不可にすると、「システム設定の変更」において次のメッセージが表示されます。

「ハードウェアの設定が変更されました。コンピュータを再起動すると、この設定が有効になります。今すぐ再起動しますか？」

このようなメッセージが表示された場合は「いいえ」をクリックし、いったん再起動を取りやめた後、「スタート」ボタンの「Windows の終了」より再起動を行ってください。また、上記デバイスを使用可能に設定した後も、「スタート」ボタンの「Windows の終了」より再起動を行ってください。

b14.MF2/400X,MF2/40 のサウンド機能について

「ボリュームコントロール」の「プロパティ」の「音量の調整」で「録音」を選択し、「表示するコントロール」で録音コントロールで表示させる項目を選択しても、いったん録音コントロールを閉じ、再度開くと、選択した表示の設定は保存されません。

b15.ドライバの再インストールについて

NE2/45,MF2/400X,MF2/40 のみ

「システムのプロパティ」の「デバイスマネージャ」において、特にサウンドドライバの「ドライバの更新」を行う場合、ドライバの再インストールが終了するまでに、非常に長い時間がかかる場合があります。

b16.マルチモニタについて

NE2/450LR,NE2/450L,NE2/43LR,NE2/43L,NE2/40E のみ

マルチモニタ機能をお使いの時には GAMEPACK2000 はご使用できません。ご了承ください。

b17.FDDユニットの着脱について

MF2/400X,MF2/40 のみ

FDDユニットが接続されていない状態で、Aドライブにアクセスすると、しばらく応答がない場合があります。

b18.Easy CD Creator / DirectCD について

NE2/450LR,NE2/43LR のみ

- インストール時の注意
「Adaptec Easy CD Creator / Adaptec DirectCD の再インストール時に Acrobat 形式のクイックリファレンスガイドが組み込まれ、Adobe Acrobat Reader 3.0J をインストールしますか」とメッセージが表示された場合、「いいえ」を選んでください(本パソコンには新版の Adobe Acrobat Reader 4.0J がインストールされています。「はい」を選ぶと旧版の Adobe Acrobat Reader 3.0J が上書きされます)。
- アンインストール時の注意
Adaptec Easy CD Creator / Adaptec DirectCD をアンインストール後に、それぞれのプログラムメニューにクイックリファレンスガイドのショートカットが残ります。残っていても問題はありません。ショートカットを削除するには、それぞれのプログラムメニューのクイックリファレンスガイドを選択し、右クリックで削除を選んでください。
- データ転送速度の遅いソースから、CD-R および CD-RW に書き込みを行なう場合には、テスト書き込みを行なってください。
- Easy CD Creator/Direct CD をアンインストールした場合、スタートメニューにリファレンスガイドのショートカットが残る場合があります。この場合は手動で削除してください。

b19.パーティーグッズ: Facematch について

NE2/450LR,NE2/450L,NE2/43LR,NE2/43L,NE2/40E のみ

「Best Couple」の画面で表示される4つの画像のうち、いくつか表示が粗いものがあります。アプリケーションの動作には問題ありませんので、そのまま続けてお使いください。

b20.PC カードをお使いの方へ

NE2/45 除く

- PCカードをパソコンに挿入するとWindows98が正常に終了できなくなることがあります。PCカードを挿入する前に以下の手順で設定すると、正常に終了できるようになります。
 1. キーボードの「Ctrl」キーの位置を確認した後、パソコン本体の電源を入れます。
 2. 「FUJITSU」のロゴマークが表示されたら「Ctrl」キーを押し続けます。
 3. 「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されたら、カーソルキーを押して「3.Safe mode」を反転表示させ、「Enter」キーを押します。
 4. 「デスクトップ」ウインドウの「OK」をクリックします。
 5. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
 6. 「システム」をクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
 7. 「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をダブルクリックし、「Intel82371AB/EBPCI to USB Universal Host Controller (MF シリーズは、Intel 82440MX PCI to USB Universal Host Controller)」をダブルクリックします。
 8. 「Intel 82371AB/EB PCI to USB Universal Host Controller (MF シリーズは、Intel 82440MX PCI to USB Universal Host Controller)のプロパティ」ウインドウの「リソース」タブをクリックします。
 9. 「自動設定を使う」のチェックを外し、「I/O の範囲」を選択し「設定の変更」をクリックします。
 10. 「I/O 範囲の編集」ウインドウで、値ボックスの数値が「1600-161F」になるように調整し「OK」をクリックします。
 11. 「割り込み要求」を選択し「設定の変更」をクリックします。
 12. 「割り込み要求の編集」ウインドウで値ボックスの数値が「09」になるように調整し、「OK」をクリックします。
 13. 「OK」をクリックし、「変更不可の環境設定の作成」ウインドウで「はい」をクリックします。
 14. 「システム設定の変更」ウインドウで「はい」をクリックし Windows を終了します。
 15. 再度パソコンを起動します。
 16. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
 17. 「システム」をクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
 18. 「モデム」をダブルクリックし、「Fujitsu SOFT PDC」をダブルクリックします。
 19. 「Fujitsu SOFT PDC のプロパティ」ウインドウの「リソース」タブをクリックします。
 20. 「自動設定を使う」のチェックを外し、「基本設定 0004」を選択します。
 21. 「設定の変更」をクリックし、「I/O 範囲の編集」ウインドウで、値ボックスの数値が「0100-0107」になるように調整し「OK」をクリックします。
 22. 「OK」をクリックし、「変更不可の環境設定の作成」ウインドウで「はい」をクリックします。
 23. 「閉じる」をクリックし「システムのプロパティ」を閉じます。
- PCカード使用時にオーディオから雑音が発生した場合
ボリュームコントロールの「ZV」の項をミュートしてください。ZV Card を使用するとき以外は、ボリュームコントロールの「ZV」の項はミュートしてください。

b21.ドライバのアップデートについて

「アプリケーション CD2」に最新版のドライバが入っています。通常はドライバをアップデートする必要はありませんが、次のような場合にのみ、ドライバをアップデートしてお使いください。アップデートの手順については、「アプリケーション CD2」の「Update」フォルダにある「README.TXT」をご覧ください。

NE2/450LR,NE2/450L,NE2/43LR,NE2/43L,NE2/40E のみ

- ディスプレイドライバの Setup.exe からインストールした場合、“Direct X6 がインストールされていません”と表示する場合
- 一部のアプリケーションで縮小画面イメージを表示した時に一部線画が消えてしまう場合
※ドライバの名称:ATI RAGE MOBILITY AGP Version Church-B119

NE2/45 のみ

- 本パソコンから出力される音にノイズが聞こえる場合(音の種類によっては改善されない場合もあります。ご了承ください)
なお、再インストールを行った場合、CD オーディオの音量が変更される場合があります。この場合は添付マニュアル『使いこなす本 ハード編』の「サウンドドライバをインストールする」をご覧になり、記載されているボリュームコントロールの設定を参考に設定してください。
※ドライバの名称:ALi Audio Accelerator WDM driver V4.10.5105

NE シリーズ,MF2/400X,MF2/40 のみ

- スクロール機能をお使いになりたい場合。
※ドライバの名称:ALPS Point Pointing-Device Driver V 4.2.3

Microsoft および Windows、WindowsNT、MS、MS-DOS、Bookshelf は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Lotus は、Lotus Development Corporation の登録商標です。

1-2-3、Notes は、Lotus Development Corporation の商標です。

一太郎、ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標、または商標です。

K56 flex は、Lucent Technologies 社、Rockwell International 社の商標です。

その他の各製品は、各社の商標または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright®富士通株式会社 1999

画面情報の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

お使いになるうえでの注意事項

B3FH-A551-02-00

発行日 1999年10月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

FUJITSU



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙を使用しています。